

令和5年度 神岡小学校 学校経営グランドデザイン



学校経営グランドデザインの具体策

テーマ	地域社会とともにある神岡小学校の充実・深化 ～コラボ・スクール構想による担い手育成～
テーマ実現のための5策	
取組の視点	取組目標 (○)・到達指標 (→)
1 心力 ◇ふるさと・キャリア教育等の推進による高い志・公共の精神・郷土愛の育成 ◇道徳教育や児童会活動、縦割り班活動等の充実による自己有用感や思いやりの気持ち等の一層の醸成	○「神岡地元学」の実施により、大きな夢や挑戦心、郷土愛、社会参加、地域貢献の意識を向上させます。 →県学習状況調査質問紙の「将来の夢や目標をもっている」、「人の役に立つ人間になりたい」、「地域のためになる活動に進んで取り組みたい」を、県平均以上にする。また、「今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」を、2回目のアンケートの肯定的回答率が、1回目を上回るようにする。 ○生徒指導実践上の視点（前ページ「基礎となる力②」参照）を生かした授業づくりや、道徳、特別活動（学級活動、児童会活動、縦割り班活動、学校行事等）を通して、自己有用感や自己肯定感、思いやり、生命尊重の心を高めます。 →県学習状況調査質問紙の「自分にはよいところがあると思う」を、県平均以上にする。また、「学校が楽しい」「友達関係に満足している」「人が困っているときは進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」を、2回目のアンケートの肯定的回答率が、1回目を上回るようにする。 ○あったか言葉やあいさつの輪を全校、地域へ広げます。 →2回目のアンケートの肯定的回答率が、1回目を上回るようにする。
2 体力 ◇適切な運動・食事・睡眠による体力・運動能力の向上と健康の保持増進	○早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣を徹底します。 →朝食の摂取率を県平均以上にする。 さわやか健康チェックを実施し、より健康的な生活習慣の確立につなげる。 ○体力・運動能力、健康に関する知識を身に付けさせます。 →体力づくり、健康づくりを全校一斉に取り組む。
3 知力 ◇「主体的・対話的で深い学び」の充実による思考力・判断力・表現力等の育成	○各教科の基礎・基本の徹底を図り、それを土台として各教科の見方・考え方を働かせ、「主体的・対話的で深い学び」を充実させます。 →県学習状況調査の平均正答率（4～6年各教科の平均正答率）を、県平均以上にする。 ○学習意欲を向上させます。 →県学習状況調査質問紙の「勉強が好きだ」、「勉強は大切だ」の回答率を、県平均以上にする。
4 地域社会に開かれた学校づくり	○「コラボ・スクール推進委員会」を組織し、「学校ボランティア」など保護者の皆様や地域の方々が教育活動に参画する体制を強化するとともに、本校児童が関わる地域貢献の体制を整備します。 ○より実効性の高い学校評価を行います。 ○平和中、すくすくだけっこ園とのコラボを積極的に行います。 ○Jingujiキャンで～ず、スクールバンド部、和太鼓クラブ等による賑わい創出活動を行います。 ○ホームページやチラシ等で学校情報を積極的に発信します。
5 実践的な指導力のある教職員づくり	○いじめ・不登校が起りにくい学級づくりを徹底します。 ○学び・教えのガイドライン「神岡健やかプラン」、「神岡スタンダード」により、授業の進め方や学習のしつけを小・中共通実践します。 ○「家庭学習の手引き（児童生徒版・保護者版）」の活用により、家庭学習の励行・支援を行います。 ○県学習状況調査の結果分析をもとにしたフォローアップを定期的実施します。 ○今求められている教育（GIGAスクール構想、外国語など）に適切に対応するため、授業改善研修を充実させます。 ○学校経営グランドデザイン具体策と人事評価の連動により目的意識を高め、職員の士気や一体感（チーム神岡）を高めます。